



奈良県感染症情報

令和5年 第12週(3月20日～3月26日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	6.09	(7.25)	↘	↘	↓	↗
2	感染性胃腸炎	5.68	(7.26)	↘	→	↘	↗
3	RSウイルス感染症	0.59	(0.59)	↗	↑	→	→
4	A群溶連菌咽頭炎	0.38	(0.24)	↑	↑	→	↑↑
5	突発性発しん	0.24	(0.24)	↗	↑	↘	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

第12週の新型コロナウイルス新規感染者数は490名と、第11週の578名より減少しています。

インフルエンザの患者報告数は減少傾向ですが、定点あたり報告数が1.0を下回るまでは注意が必要です。

新型コロナウイルスや季節性インフルエンザなどの感染症は、咳やくしゃみの飛沫により感染することがあります。他の人にうつしてしまわないよう、咳・くしゃみをする際には、口や鼻をおさえる「咳エチケット」を実践するようにしましょう。咳やくしゃみを手でおさえてしまうと、その手で触ったドアノブなど周囲の物にウイルスが付着してしまいます。マスクをしていないときにはティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆うようにし、とっさのときには上着の内側や袖で覆うようにしましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

COVID-19は減少している。インフルエンザの患者数は週により増減している。

感染性胃腸炎は続いている。

RSウイルス感染症は流行の始まりかもしれない。生後1か月の乳児は管理入院となった。

他の届出疾患は無かった。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

COVID-19例は減少した。

インフルエンザは増加はないが少しずつ持続。すべてA型。

嘔吐が主のノロ様感染性腸炎が流行、水様下痢を伴う例もある。

乳児でRS陽性例が散発してみられる。今冬他の届け出疾患はなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19感染症は減少。散発的にみられるのみ。

インフルエンザAも減少傾向はあるも、まだ流行は続いている。

ノロウイルス等の胃腸炎は増加してきている。

他の呼吸器感染症は多く、一部の遷延がみられる。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 第 12 週 3 月 20 日 ~ 26 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ	335 (6.09)	91 (6.50)	83 (5.93)	54 (4.91)	61 (6.10)	46 (7.67)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	20 (0.59)	3 (0.33)	8 (0.89)	6 (0.86)	2 (0.33)	1 (0.33)	
咽頭結膜熱	6 (0.18)			4 (0.57)	2 (0.33)		
A群溶連菌咽頭炎	13 (0.38)	1 (0.11)	6 (0.67)	1 (0.14)	3 (0.50)	2 (0.67)	
感染性胃腸炎	193 (5.68)	44 (4.89)	47 (5.22)	29 (4.14)	62 (10.33)	11 (3.67)	
水痘	2 (0.06)	1 (0.11)		1 (0.14)			
手足口病	1 (0.03)				1 (0.17)		
伝染性紅斑							
突発性発しん	8 (0.24)	5 (0.56)	1 (0.11)		2 (0.33)		
ヘルパンギーナ	2 (0.06)				2 (0.33)		
流行性耳下腺炎							
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(郡山1、中和2、吉野1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(中和1) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(奈良市1、郡山1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(中和1) 水痘(入院例に限る。)1件(中和1) 梅毒6件(奈良市2、郡山4) 百日咳1件(郡山1)

❖ 第12週のトピックス ❖

◆ 感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の変異株について (第26報) (国立感染症研究所HP)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/11879-sars-cov-2-26.html>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男		2	5	8	6	10	18	19	12	4	14	47	7	2	7	6	4				172	4116
	女	1	4	6	7	4	12	21	10	14	9	9	31	7	8	9	8	3				163	3545
RSウイルス感染症	男	3		5	1	1	3					1										14	73
	女		1	5																		6	42
咽頭結膜熱	男			1	1																	2	40
	女			1	3																	4	24
A群溶連菌咽頭炎	男			2			2	1	2			1			2							10	73
	女	1				1	1															3	36
感染性胃腸炎	男	2	5	20	17	10	13	10	8	3	1	4	7		4							104	1305
	女		4	11	12	8	13	8	5	6	3	3	1	2	13							89	1078
水痘	男											1										1	13
	女				1																	1	9
手足口病	男			1																		1	41
	女																						25
伝染性紅斑	男																						3
	女																						1
突発性発しん	男		3	1		1																5	46
	女			3																		3	43
ヘルパンギーナ	男				1																	1	8
	女					1																1	4
流行性耳下腺炎	男																						3
	女																						2
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男																						14
	女																						1
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						2
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						1
	女																						
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						
	女																						

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

